

第3回 道の駅よこはまエリア事業推進協議会 議事要旨

日時：平成29年3月14日（火）13:30～15:00

場所：横浜町ふれあいセンター大集会室

【この1年を振り返って】

- ・ぐるっと隊に道の駅の除雪、駐車場のゴミ拾い、枝払いなど、普段目の届かない所もきれいにしてもらって、非常に助かった。
- ・この取り組みを通じて、この1年大きく意識改革された。インターンシップで頂いた意見も今後の販売戦略につながる。
- ・ぐるっと隊を毎週利用しており、道の駅への貢献度も高い。来年度も活動を継続してほしい。
- ・今年度、商工会女性部で特産品開発に挑戦した。財源の見通しがつけば、来年度に販売を目指したい。
- ・新しいことにチャレンジし、大変だったが、いい勉強になり、良い結果につながった。・イベントの規模を拡げて、負担が大きくなったが、お客さんが足を止めてくれたり、SNSを見て来てくれたり、道の駅も明るくなって良かった。今後も続けていきたい。

【老人クラブへの男性の参加について】

- ・老人クラブへ女性の参加者が多いということだが、男性が参加できるような取り組みを検討してもらいたい。
- ・老人になっても男性は農業など仕事を持っているのでなかなか老人クラブに入らない・外で学んだことを地域の人に広める、教えるなど、男女問わず集まる場がつくられればいい。
- ・老人男性の専門技術力を活かして、若い人に頼ってもらえるような仕組みもつくれるのではないか。

【八工大武山教授より意見】

- ・ぐるっと隊が将来ビジネスとして成立すれば理想だが、福祉的な要素もあるため、補助財源なども活用しながら、続けることが大事。
- ・数値などの効果もしっかり押さえておくべき。
- ・イベントづかれにはならないよう、着実に取り組みを続けてほしい。

【弘大平井准教授より意見】

- ・何のために、いつ頃までに、どのくらいという目標を確認しながら進んでいくべき。
- ・ソフト面をハード整備に組み込んでいくために、検討スケジュールを管理していく必要がある。
- ・町の中で経済を回していくために、できるだけ地元の人材でやれることをやるべき。

—以上—